



## 【韓国】 総合指数は週間で0.1%安と小反落、今週は神経質な展開か

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で0.1%安と小反落。総じて方向感に乏しい展開となった。週明け7日は米金融引き締めへの警戒感から4営業日ぶりに反落したが、8日以降は3日続伸。決算発表シーズンを迎え、企業業績への期待が買いを支えたほか、9-10日は米株高を受けて投資家がリスク選好姿勢を強めた。海外勢の買いが目立ち、サムスン電子など主力株の上昇が相場をけん引した。もっとも、韓国国内で新型コロナウイルスの感染者数が高止まりする中、景気減速への懸念が上値を抑えた。11日は4日ぶりに反落。1月の米CPI上昇率が予想を上回り、米FRBが金融引き締めを前倒しで進めるとの見方から売りが加速した。今週も海外市場をにらみながら神経質な展開か。国内では貿易統計、雇用統計、物価統計などが発表される予定。

▼指数チャート



## 【ロシア】 RTS 指数は2.4%高と3週続伸、今週は緊迫のウクライナ情勢が重しか

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で2.4%高と3週続伸。ウクライナ情勢を巡る緊張が和らいだことで大きく上昇したが、利上げが嫌気され、上げ幅を縮めた。仏ロ首脳会談を受けたウクライナ情勢を巡る緊張の緩和や欧米株の上昇を追い風に指数は8日に前日比3.0%高、9日に3.1%高。ただ、11日は5.0%安と6日ぶりに急落。主要国でインフレ懸念が高まる中、ロシア中央銀行が政策金利を8.5%から9.5%に引き上げたことが嫌気された。個別銘柄では資源のルサルが11.7%高、産金のポリメタルが4.6%高となり、金融のTCSグループが2.5%、ズベルバンク・オブ・ロシアが1.7%、鉄鋼のセヴェルスターリが2.5%上昇。一方、エネルギーのノバテック、ルクオイル、ロスネフチが4%超下落した。今週はウクライナ情勢の緊張が重しか。

▼指数チャート



## 【ベトナム】 ベトナム指数は1.5%高と続伸、今週は海外情勢次第で神経質な展開

か

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で1.5%高と続伸。連休中の海外株高がベトナム株の支援となった。旧正月の連休のため1週間の休場明けの7日は前営業日比1.3%高。その後も買い優勢の展開が続き、VN 指数は10日まで5日続伸した。ただ、11日は海外株安が重しとなり0.3%安と反落している。指数は10日の場中に1512.88ポイントと1月13日以来の水準まで上昇し、11日終値は1501.71ポイント。年初来で0.2%高とプラス圏を回復した。個別銘柄では鉄鋼のホア・ファット・グループが11.7%高と急伸。ゴム製品のベトナム・ラバーが8.8%高、飲料のサイゴンビール・アルコール飲料が7.3%高、食品加工のマサン・グループが4.8%高となった一方、不動産のピンググループが15.8%安と急落した。今週は海外情勢次第で神経質な展開か。

▼指数チャート





## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.3%高、GDP 成長率の市場予想超えを好感**

ジャカルタ総合指数は週間で 1.3%高と続伸。6800 ポイントを挟んでもみ合った。週初の 7 日は 21 年 10-12 月期の GDP が前年同期比 5.0%増と市場予想から上振れした効果で買われ、指数は前営業日比 1.1%高と、前週末に続き終値で過去最高値を更新。8 日は 3 日ぶりに反落したが、9 日は終値で再び過去最高値に到達した。ただ、週後半は 10-11 日に小幅に続落し、週の上げ幅を縮めている。中央銀行のペリー総裁は、前日の金融政策決定会合で政策金利の見直し時期について、7 月以降になる可能性を示した。今週は 14 日の 21 年 12 月の小売売上高に続き、15 日には 1 月の貿易統計が発表される予定。

### ▼指数チャート



## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】スレーツタイムズ指数は 2.9%高、週末まで 8 営業日続伸と好調**

スレーツタイムズ指数は週間で 2.9%高と続伸。週末に終値で 18 年 6 月以来の高値を更新した。週初の 7 日は、好決算を発表したシンガポール取引所 (SGX) が買われ、指数は前営業日比 1.1%高と 4 営業日続伸。8 日は場中に一時、株価が上場来高値を更新したユニテッド・オーバーシーズ銀行が指数上昇をけん引し、前日比 1.0%高と終値で 3400 ポイント台に乗せた。同行は 1 月、米シティグループから一部の個人向け事業の買収を発表して以来、高値での取引が続いている。指数は週半ば以降もじりじりと上値を広げ、11 日まで 8 日続伸して引けた。今週は 17 日に 1 月の非石油地場輸出が発表される予定。

### ▼指数チャート



## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.5%高、9-10 日は終値で 1700 ポイント台に到達**

SET 指数は週間で 1.5%高と続伸。週半ばまでの上昇が指数を支えた。週初の 7 日は、前週の勢いを引き継ぎ 7 営業日続伸。8 日も上値を広げると、9 日は銀行や通信セクターの大型株に外国人投資家の資金が流入した効果で、前日比 1.1%高と終値で約 2 年半ぶりに節目の 1700 ポイント台に乗せた。同日に開催された中央銀行による定例会合では、政策金利が 14 会合連続で 0.50%に据え置かれている。指数は 10 日に 10 営業日ぶりに小幅反落すると、11 日は終値で 1700 ポイントを割り込んで取引を終えた。今週は米 FOMC 議事要旨の公表などの外部要因が焦点。16 日はマカブーチャ (万仏祭) のため休場となる。

### ▼指数チャート



## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 3.7%高、21 年 10-12 月期の GDP がプラス成長を回復**

クアラルンプール総合指数は週間で 3.7%高と続伸。GDP 成長率に対する楽観的な見通しが指数を押し上げた。週初の 7 日はゴム手袋メーカー株と銀行株が指数上昇をけん引。8 日は前日からほぼ横ばいだったが、9 日は 11 日発表の 21 年 10-12 月期の GDP がプラス成長に回復するとの見通しが買い材料視され、指数は前日から 1.4%上昇した。好地合いが続く中、10 日は前日比 1.2%高と続伸すると、11 日は 10-12 月期の GDP が前年同期比 3.6%増と市場予想から上振れした効果で、終値で 3 カ月半ぶりの高値を更新して取引を終えている。今週は国内の重要イベントが少なく、外部要因に左右される展開か。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。